





杉山茂範君

私の仕事はボイラの販売・修理・メンテナンス・付帯設備工事です。ボイラと一口に言っても家庭用の小型

給湯ボイラから発電用や大規模工場のプラント用、船舶用など多岐に渡っています。蒸気機関車もボイラです。我々が日頃取り扱いをしているのは中小から中規模と言われるいわゆる産業用・業務用のボイラです。ボイラ業界において喫緊の課題とされているのは脱炭素の問題です。30年ほど前にはボイラ効率 85%位のボイラがよくありました。(今でもありますが) 最近では 95~98%が主流で潜熱回収をする 105%というボイラもあります。そのボイラ効率を上げることはボイラメーカーにお任せするとして我々は高効率ボイラをうまく活用し、いかに設備全体として環境負荷の少ない運用ができるかという取組みをしています。

ボイラのことをあれこれお話しても面白くはないと思いますので、ここからは私が考えていることを少しお話します。ペルチェ素子というものがあり PC の CPU の冷却や小型冷蔵庫などで使われています。これは異なる金属を接合し電気を流すと接合点で熱の吸収・放出が起こる効果(ペルチェ効果)を活用したものです。このペルチェ素子には逆の効果、ゼーベック効果というものがあり、このペルチェ素子に温度差を与えると電力を発生させることができます。これまでボイラなどから生じる排熱は水を媒体として蓄熱し再利用してきましたが、これを利用して熱エネルギーを電力に変換できないかと考えています。

試しに実験してみます。お湯と氷で電力差を発生させテスターで当たってみますと 0.7V の発電ができてることがお分かりいただけるかと思います。ちなみにこの素材の能力としては 12V との記載があったので 12V の照明を点灯させようとしたのですが点灯しませんでした。このように現時点では実用化にはまだまだほど遠く現実的な話ではありませんが、技術の進歩、新たな発想が生まれ実現するかもしれません。まだ趣味の世界ですがいずれと目の目を見ることがあるかもしれ

れません。



樽井勉君

こんにちは、スターランドの樽井でございます。職業分類は、コンピュータソフト開

発です。ソフト開発市場は、14兆円規模で3万社が存在します。ソフト開発には、「受託開発 全体の93%」と「パッケージ開発 7%」の2種類があります。受託開発は、依頼主から依頼を受けて作成、仕様・納期は、依頼主が決めます。完成すれば売上がないということはないが、納期には非常に厳しく、完成前は長時間の残業となる(建設業と同じピラミッド構造でさまざまな会社と連携しているため遅延ができない) パッケージ開発は、自社でニーズを把握し、新たな需要となりうるソフトウェアを創って販売し、価格と納期は自社で決めるこ

とができる。が、売り出したところで、売上になるかは不明。有名になって認知されなければ売れなく、開発から販売までを、自社で完結するので、大手の企業が多い。

スターランドは、パッケージ開発会社で、スーパースター ブランドのPOSシステムメーカーです。スーパースターは、レジャー、アミューズメント業界に特化した、ニッチ市場のNO.1 戦略で、業界トップクラスの導入実績を持つ有名ブランドです。現場でニーズを把握し、自社で企画・開発・販売し、NO.1 製品を追求しています。そして、“日本初・業界初”の製品開発にこだわっています。

例会プログラム

今週の一言

鈴木健夫君



先月、大きな地震があったミャンマー、震源地はミャンマー第2の都市マンダレー付近ということで私、大変心配しています。

このマンダレーの近くにバガンがあります。ミャンマー中央を流れるイラワジ川、この流域に広がる平原で、大小様々なお寺の遺跡とパゴダと呼ばれるミャンマー式仏塔の遺跡が3000塔以上あると言われています。

カンボジアのアンコールワット、インドネシアのボロブドゥールとともに、世界三大仏教遺跡の一つに数えられている所です。

夕方、小高いパゴダに登って、陽が沈むのを眺めます。だんだんと夕日に染まる仏塔、広大な平原に沈む夕日、とても幻想的でロマンチックな気持ちになります。

政情不安でなかなか行くことはできませんが、いつか再び訪れたいと思う場所です。



例会日	クラブ行事	摘要
4/25(金) 第1594回	地区研修・協議会報告	小杉苑
5/9(金) 第1595回	会員卓話	理事会
5/16(金) 第1596回	会員卓話	小杉苑
5/23(金) 第1597回	会員卓話	小杉苑



(担当/鈴木照寛君)